春斗の中核となろう

三池で青年活動者集会開く

春斗をたたかい抜く青年活動者会議が、九、一〇の二日間、福岡県総評さん下各組合から青年活動者八五名が三池に集まってひらかれた。この討論集会では春斗の中心になって青年労働者がその先頭に立ってたたかい、春斗の全体的な発展にその役割を担う強い決意が確認された。

三地区で分散会

春斗を迎え県下の青年活動者が三池に集結してひらいた討論集会の意義は大きい。

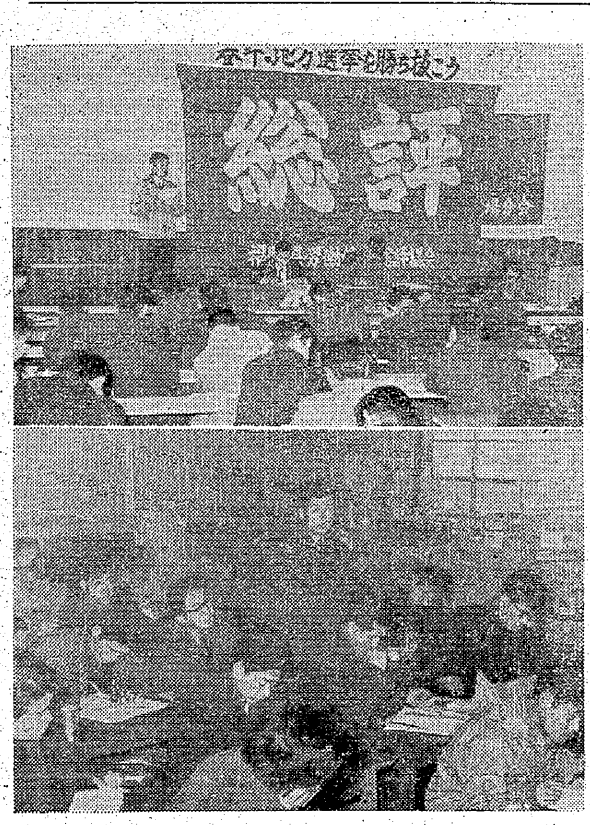
春斗での討論集会とともに、三井鉱山が合理化の先触れとしてかけている三池労組指導部一〇名の責任追及や、組合ぶっつぶしを狙うあくどい差別待遇とたたかう三池との交流を深め合った。

集会に参加した青年活動者は官公労、民間の各組合からなり、第一日目は午後一時から宮浦支部大会議室で全体集会をひらいた。

まず、春斗の基調報告として、今年の春斗は例年とかわり非常に困難な情勢の中で斗かわれるものであり、官公労が中心になり斗いを進めるが、日経連は政府へ働きかけ政府、自民党、経営者は一丸した態度でのぞんでおり、人事院裁定が春斗の相場になると思われるこれを考えても、心底から斗おうとする認識と理論的な面が欠けているのではないか……と報告が行なわれた。

そのためにも、ここで組織の中の欠陥を出し合った中から、青年労働者がどういうふうに掌握して全体的に斗いを発展させるかで討議が進められた。

そして、各単産がいま取組んでいる問題が出し合われた。



（上）最終日の三川支部での全体集約会議
（下）新港会場での分散討論会

討論終了後は、各地域へ分宿、交流座談会をひらき、ほとんど各分会とも夜の更けるのも忘れて交流し、遅いところは午前三時までおよんだところさえあった。

経験を出し合い 学びとる

第二日目は午前中、新港、本所支部、四山支部の三会場で分散会をひらき、午後は一時から三川支部で全体会議をひらき集約した。

新港会場は三川支部新港分会斗争本部でひらいたが、ここでは各組合の実状を出し合い、その中から組合の経験や悩みが出されたが、その中から学ぶ点を持ち帰り、こんごの活動を強めることとした。

○…全通では特定局が斗う上でガンとなっている。日常の悩みや苦情をとって斗いを組んでおりその中で日韓問題や安保などにつながらせている。

○…労農提携を深めるためにも農家の実態を正しくとらえることが必要だ。

○…敵側の青年層へのPRは巧妙になっており、組合の旧態依然たる青年層の組織は改めねばならぬ。近代的産業構造にともなった把握が必要だ。

○…各組合の斗いがよく分らねば地域共斗をひろげられぬ。

○…教組では映画の前売券を売る中から共斗の成果をあげている

○…討議された中の一つでもよい必ず帰って実行しよう。

など数多くの意見が出されたが、とにかく形こそ変るが合理化の本質は一つであり、青年が反合理化斗争の推進力となって斗うとの強い意志統一が行なわれた。

分散会は午前十一時までだったが予定を一時間延ばし、十二時まで討論が行なわれ、さらに最後には新港分会にお世話をかけたお礼と斗いへの激励をかねて場内カンパが行なわれ、千余円がおくられて

青年労働者の力を 結集しよう

全体会議は午後一時から三川支部二階で行なわれたが、ここで各分散会報告がなされた。

このあと全体の集約が述べられたが、とくにこの中で「集会をなぜ三池で持ったか、それは長期抵抗路線の名のもとに、反合理化斗争を組んでいる斗いの実態をよく学ぶためであり、二日間の中で十分学びとったと思う」と三池でひらいた意義が述べられた。

そして、集会のアピールを発表、青年労働者が今こそ政転、高校全入、失対打切りをはじめ、各斗いを一つにまとめ、春斗の中で一本スジを通して強力に斗ってゆくことを誓い、集会を終った。

組合を通して結婚

すでに五〇組が誕生

結婚／それは若人の夢であこがれでもあるが、現在のような労働者の低賃金の中では、それはまた一つの悩みともなっている。本所支部では塚元支部長が仲人となってこれまで、五〇組あまりを縁組みさせ、いわば組合結婚とでもいうべきものを行っているが、昨年末も五組の新婚家庭を誕生させている。組合を基礎として結ばれたこの五家庭のうち、三家庭を訪問して、組合結婚の感想やその後の状態を語ってもらった。

訪問先
伊藤 勇さん夫婦
今岡 進さん夫婦
米村 稔さん夫婦

仲間の祝福を浴びて

この結婚の先駆者は、いま本所支部組織部副部長の阿久津さんだが

三組の紙上座談会

以下紙上座談会の形をとり、とくに組合結婚とでもいうべきこの問題を塚元支部長が手がけたのは、いつまでも二人が幸せになれるようにという気持ちと、組合運動というものは組合の場だけのものではなく、あくまでも家庭とつながっていなくてはならないということさらにお互いが人間同士として、相手の人格を十分観察することが大切である点などがあげられる。

この結婚は世間で行なわれる金のかかる虚礼は廃止して、真に二人の幸福を願うため、できるだけ費用も簡素にし、しかも厳しゅくなうちに仲間の心からの祝福を浴びて行なわれている。〝結婚は夫婦でつくる人間の歴史である〟といわれているのにふさわしい門出である。

形式は幸福に無関係

Cさん　私の職場では披露宴は仲間全体で祝ってやろうと、世間の慣例を破って行動隊などが中心になり賛同者を募ってやっていた。始めは年配の人たちから好感をもたれなかったが、回を重ねるにつれ、これはよいシステムだと喜んで集るようになった。場所も斗争本部や支部を借ってやっている。

Aさん　正直いって金がなかったし結婚といえばお先き真っ暗だった。安心して求める場所があったというわけ。結婚しても客観的にみてくれるものがいると制約された恰好にはなるが、組

Cさん　私の職場では披露宴は仲間全体で祝ってやろうと、世間

Cさんの奥さん　私は支部長の考えに賛同して結婚にふみきりました。私の姉夫婦が全くの文なしで式をあげたときつくづく思ったのは「どんなに金をかけても果して幸福になれるか」ということでした。それで私は形式にとらわれることはないと思い賛成しました。職場の人が参考に見にきましたが「ああいう結婚式があることを知り、大変参考になった」といっていましたよ。

Bさん　職場の中にも結婚したくとも金はないし、親がブレーキになってまだしていない人がいる。仲人に頼んであるがどうにもならない。私はそれでどんなにしても金はないのだからといま彼らに説得をしています。

お互いが責任を持つ

Bの奥さん　親も親戚も最初はこの結婚式に心配していたが、終ったところ「これはよかった」と非常に喜んでいました。仲人さんからの話しの経験もありますが全くくだらないですね。いい加減なことばかりいって……

Cさんの奥さん　みなさんたちからもの凄く誠意のあるお世話をうけ、これでは今後いい加減な生活はできないという気持ちが自然とおこったですね。

Aさんの奥さん　同じような結婚をした人同士でよく家庭のことを話します。執行部の方も家庭のようすを親切に聞かれますしどても元気づけられます。これでは無責任なことはされない、お互いに助け合い努力し合わなければならないとつくづく思いますよ。

責任追及に怒る

兵庫から仲間の激励

一、二〇〇名の一人としていま兵庫県の西部電工で伍らいている仲間の松島征幸さんから、激励の便りが寄せられていますので紹介します。

× × ×

毎日ご苦労さまです。

斗争に明け斗争に暮れている皆さんが、何といって激励してよいのか……。

提訴者同盟の第二回、第三回の総会の報告と結論、隅から隅まで読んでいます。友人から届けてくる炭労新聞を読むのが唯一の楽しみです。

僕たちの社宅は炭鉱離転者がほとんどです。二二軒のうち一〇名までがそうで、僕の隣りは本所支部出身の塚本弘さんです。みんな力づけ合い一生懸命伍らいていますとくに塚本さんとは、三池魂をもって決して人に後することなく堂々と胸を張って生活しています。

三井鉱山では、三池をふくめ一万人の合理化案を出していますね。何ものにも恐れなく敢然と合理化に反対して斗う三池の誇りを傷つけないよう、みなさんのご指導をお願いします。僕たちも限りない声援をおくります。

西五卸常一優勝

四山団結駅伝 寒風の中を力走

四山支部では二月三日、団結駅伝大会をひらき、寒風のなかに力走をつづけたが、力走の結果は西五卸常二番チームが見事優勝、つづいて二位上層ろ方ホーベル、三位十二昇常一番の順で上位をかざった。

この日参加したのは職場各分会二〇チーム、四山鉱人事前をスタートして正門前―宮内―緑ガ丘―四山のコースを八区に分けて健脚を競い合った。

大会は午前九時にいっせいにスタートしたが、とくに組合も例年通り一チームを編成して参加、また坑内運搬は事情があってチーム編成ができず、せっかくの団結駅伝に参加できぬのは残念と、正式チームではなくてオープンで出場、選手も他のチームが八名のところを十九名繰出して負けられないとばかり力走したが、時の運を得ず後塵を拝するところとなったが、その斗魂は高く賞われている。

執行部チームは例年最後尾をうけたまわっていたが、ことしは例年の汚名を見事雪辱して健斗し声援を浴びていた。

正月からの寒気はきびしく、この日も底冷えがつづいたが、全員が団結駅伝にふさわしく力走をつづけ、老若を問わず走り抜き、駅伝終了後も職場や地域で明るい話題をまいている。

生活（くらし）

港務　**松原 直吉**

冬朝の出がけは忙し幼な等に一方的に用頼みおく
薄給に身を持す生活ともすれば妻子にむごき言葉ともなる
生くることの意義を諮（うべな）ひたえがたき差別にも堪へ生きぬかんとす
春来れば家族こぞりて花のもとすごす一日（ひとひ）の夢はぐくめり
朝まだき稼ぎに出ゆく主婦の声直（すぐ）なる若さもて遠ざかる
雪山の遭難者に話およべり猛吹雪く真夜を退け来てややくつろげば
宮川組合長以下一〇名の解雇をはのめかしていることを新聞で知り憤然としています。
僕の兄も去年一二月中旬に政転斗争で上京の途中、車中で逢い僕も一緒に行きたくなり腕がむずむずしてきました。
いかに困難な事態になろうとも最後まで頑張ろう。提訴者同盟員、現地三池の同志によろしくお伝えください。